

平成24年度事業報告書

1 国民体育大会への参加支援

(公財)日本体育協会、国及び開催地の都道府県が共同して開催する国民体育大会に、本県代表選手を選抜し、県とともに長野県選手団を派遣した。

(1) 第33回北信越国民体育大会への選手団派遣

8月24日から26日までの3日間を中心会期として、福井県下（一部競技は石川県）で開催された第33回北信越国民体育大会に、778名の選手団を派遣した。

(2) 第67回国民体育大会への選手団派遣

9月29日から10月9日までの11日間を中心会期として、岐阜県下（一部競技は愛知県）で開催された第67回国民体育大会に、512名の選手団を派遣した。

第67回国民体育大会の成績は男女総合17位(1,026.0点)女子総合17位(565.0点)であった。

(3) 第68回国民体育大会冬季大会への選手団派遣

ア 1月26日から2月1日までの7日間、東京都及び福島県で開催されたスケート・アイスホッケー競技会に、127名の選手団を派遣した。

イ 2月16日から19日までの4日間、秋田県で開催されたスキー競技会に、112名の選手団を派遣した。

ウ 冬季大会終了時の成績は男女総合2位(349.0点)、女子総合2位(157.0点)であった。

(4) 国民体育大会予選会の開催

国民体育大会の参加に向け、各競技における本県の代表となる優秀な選手を選抜するため、本会と各競技団体が共催で県予選会を開催した。

(5) 北信越国体対策事業

北信越国体において、本大会出場権獲得数が北信越5県中7年連続最下位の現状から脱却し、本大会の総合順位の向上を図るため、出場権獲得の可能性が高い競技を対象に医師及びトレーナー等を帯同させ、集中的な医科学サポートを実施した。

○事前強化合宿等における帯同・サポート 延べ41名(7競技)

○中心会期における帯同・サポート 延べ12名

(6) 国体選手団ユニフォームの購入助成

国体選手等が本県選手団ユニフォームを購入する際に、その費用の一部を助成した。

(7) 企業学校訪問

国民体育大会等での活躍が期待できる選手及び指導者の所属する企業又は学校に出向き、企業、学校での選手の練習環境の整備や国民体育大会への参加に対する理解と応援について依頼した。

2 競技力向上事業の推進

(1) 指導者養成事業

指導者の資質向上と競技力の向上を図るため、中央（(公財)日本オリンピック委員会、国立スポーツ科学センター等）の動向や最新情報を取得する「トップ指導者ミーティング」を開催した。

○トップ指導者ミーティング

7月7日（土） ホテル国際 21 参加者 48名

(2) ジュニア競技力向上事業（重点強化校等特別強化事業）

各競技団体等と連携しながら、本県の次代を担う素質ある中学生及び高校生を育成するため、県と連携して中学生強化競技団体、重点強化校・クラブ等を指定し競技活動の支援を行った。

○中学生強化競技団体 20 団体

○重点強化校 7校、重点強化クラブ 13 クラブ

○特別強化校・クラブ 29（高校 15、中学校 3、クラブ 11）

○強化校・クラブ 61（高校 34、中学校 10、クラブ 17）

(3) 競技力向上環境整備事業

本会が所有する馬 2 頭の管理を県馬術連盟に委託した。

(4) 競技者就業支援事業

大学生等が卒業後も競技者として活躍できる環境を整備するため、関係団体と調査・研究を行った。

3 競技者育成（SWANプロジェクト）事業の推進

冬季競技において優れた素質を有する競技者を早期に発掘し、国際舞台で活躍できるアスリートを組織的・計画的に育成するため、SWANプロジェクトを関係競技団体、(公財)日本オリンピック委員会、独立行政法人日本スポーツ振興センター、国立スポーツ科学センター等と連携して推進した。

○実行委員会 2 回開催

○選考部会 9 回開催

○育成部会 7 回開催

○選考会 1 次 10月27日（土） 2 次 11月17日（土）

○開講式 12月22日（土） エムウェーブ 4 期生 16 名

○育成プログラムの実施

4 競技者等サポート事業

(1) 医科学サポート事業

選手がベストな状態で競技に臨めるよう、栄養指導から故障個所のケアの指導等まで、選手や監督等との関係を密にしたサポート体制を確立したほか、国民体育大会参加予定者を対象にメディカルチェックを行い、個人個人にあった運動処方方を、本会の各種サポート団体の協力を得て実施した。

(2) ドーピング防止教育・啓発事業

スポーツ選手による薬物の乱用や誤用を防ぎ、健全なスポーツ活動を推進するため、(公財)日本体育協会の助成を得て、選手や指導者を対象とした教育・啓発活動を実施した。

○スポーツ医科学サポート会議

9月10日(月) 長野県スポーツ会館 参加者 68名

5 長野県スポーツ少年団の育成

(1) 交流交歓事業

スポーツ少年団員の体力づくりや仲間づくりを通して、青少年の自主性及び創造性を育むため、競技別交流大会や野外活動を実施した。

また、国際的視野を広めるための日独スポーツ少年団同時交流事業に積極的に参加し、団活動の活発化と団員の更なる資質向上を図った。

平成24年度(9月30日現在)における登録市町村数は46市町村で、単位団数586団、団員17,303名、指導者4,098名となっている。

(2) リーダー育成事業

各地域の単位スポーツ少年団の活動をしながら年少団員のまとめ役や、指導者の補助的な役割を担い、スポーツ少年団の中核となって活動するリーダーを育成するため、小学6年生及び中学生を対象とするジュニア・リーダースクールを開催した。

○ジュニア・リーダースクール

8月6日～8日 佐久市望月少年自然の家 参加者 26名

(3) 指導者育成事業

スポーツ少年団活動の中心的指導者として活動を行うために必要な知識や技術の習得のため、日本スポーツ少年団等と共催で講習会等を開催するとともに、全国指導者研究大会や北信越ブロック指導者研究協議会に参加した。

○スポーツリーダー養成講習会兼日本スポーツ少年団認定員養成講習会

- | | | | |
|-------|------------|------|---------|
| ・東信地区 | 6月9日～10日 | 東御市 | 受講者 72名 |
| ・南信地区 | 6月16日～17日 | 下諏訪町 | 受講者 43名 |
| | 2月23日～24日 | 飯田市 | 受講者 54名 |
| ・北信地区 | 11月10日～11日 | 千曲市 | 受講者 53名 |
| ・中信地区 | 11月17日～18日 | 安曇野市 | 受講者 37名 |

6 スポーツ普及・交流事業の推進

地域住民のスポーツへの関心を高め、スポーツへの参加を促すため、当会加盟団体が実施するスポーツ教室・スポーツ大会に対し支援をした。

7 総合型地域スポーツクラブの育成支援

生涯スポーツ社会の実現に向け、(公財)日本体育協会事業によりクラブ育成アドバイザーを設置し、県体育センター、県教育事務所と連携し総合型地域スポーツクラブの育成を推進した。

○支援クラブ

<2年目クラブ> 4クラブ

- ・ (仮称) 飯島町総合型地域スポーツクラブ
- ・ 喬木村総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会
- ・ (仮称) しおじり高出総合型地域スポーツクラブ
- ・ 南木曾総合型クラブ設立準備委員会

<1年目クラブ> 4クラブ

- ・ 大鹿村総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会
- ・ (仮称) 池田町総合型地域スポーツクラブ
- ・ (仮称) 鉢盛総合型地域スポーツクラブ
- ・ (仮称) 塩崎総合型地域スポーツクラブ

8 機関紙の発行

各競技会の成績情報や本会のスポーツに関する取組み状況などを提供することにより、県民のスポーツへの関心を高め、もって本県のスポーツの振興と県民の体力向上を図るため、隔月刊「体協だより」及び年刊「体協ながの」を発行した。

また、本会ホームページの活用などによりスポーツに関する情報提供に努めた。

9 スポーツ振興功績者の表彰

表彰規程により、体育・スポーツの振興に功績のあった個人及び団体を表彰するとともに、国民体育大会等において優秀な成績をおさめた者に対し記念品を贈り、県民のスポーツに対する意識高揚を目指すなど、スポーツの振興を図った。

○スポーツ振興功績者表彰

有功章：個人 27 名、団体 10

栄光章：個人 7 名

○国体等優勝者記念品贈呈

第 67 回国民体育大会本大会 5 名

第 68 回国民体育大会冬季大会スケート競技会 5 名

平成 24 年度全国高等学校体育大会 5 名

平成 24 年度全国中学校体育大会 17 名

10 賛助会員の確保

スポーツの振興に資するため、企業訪問、県民への広報により、新たな寄附者の開拓を図った。

11 関連事業への協力

- (1) 県教育委員会が策定した「長野県スポーツ振興計画」（計画期間：平成20年度～24年度・平成20年2月5日決定）に基づき、体育・スポーツ振興施策の推進を支援した。
- (2) NPO法人長野県障がい者スポーツ協会、公益財団法人スポーツ安全協会長野県支部その他関係団体の事業に協力した。